

松尾地区地域審議会 会議録

会議の名称	松尾地区地域審議会（平成23年度第3回）		
開催日時	平成24年2月20日（月）	開会	14時00分
		閉会	16時10分
開催場所	松尾洗心館 大集会室		
議長氏名	奥田 政美		
出席者氏名	別添出欠席者名簿のとおり		
欠席者氏名	〃		
事務局氏名	〃		
会議 事項	議 題	会議結果	
	(1) 松尾地区賑わい空間創出事業について (2) その他	(1) 事務局の提示する内容について了承した (2) 環境衛生組合の焼却場の状況についての報告を要望した。	
会議の経過	別添会議経過のとおり		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾地域賑わい空間創出事業について ・まつ研通信 ・PresentTreeforさんむ日向の森植樹祭について ・第4期公募委員の募集について 		
その他必要事項			
会 議 録 の 確 定			
確定年月日	署名委員		
平成25年10月29日	花 澤 和 彦		
	花 澤 政 芳		

出 欠 席 者 名 簿

松尾地区地域審議会委員		
職 名	氏 名	出欠
会 長	奥 田 政 美	○
副会長	秋 葉 利 一	○
委 員	大 津 秀 夫	○
委 員	小 柳 昌	○
委 員	齊 藤 澄 子	○
委 員	地布久 勝 夫	○
委 員	北 田 明 夫	○
委 員	花 澤 和 彦	○
委 員	土 屋 秀 雄	○
委 員	野 中 学	×
委 員	鈴 木 超	○
委 員	古 川 栄	○
委 員	周 東 慶 幸	○
委 員	花 澤 政 芳	○

執行部・事務局		
所 属	職 名	氏 名
総務部	部 長	齊 藤 光 一
企画政策課	課 長	石 橋 昌 美
松尾出張所	所 長	小 堀 英 信
企画政策課	主 幹	小 川 恵 計
企画政策課企画係	主査補	田 中 英 紀
企画政策課企画係	主任主事	今 関 康

出席職員数 6名

出席 13名 欠席 1名

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>皆様、本日はお忙しい中、また、最近寒さも非常に厳しくなっているところでございますが、会議にご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の会議の進行を務めさせていただきます石橋でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、平成23年度第3回松尾地区地域審議会を開催させていただきます。</p> <p>初めに、本日の会議の出席者につきまして、ご報告をいたします。本日の会議でございますが、野中委員より所用のため欠席とのご連絡をいただいております。現在、14名のところ、13名のご出席をいただいております。地域審議会設置に関する協議第8条第4項の規定により、委員の出席が過半数を超えておりますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告いたします。</p> <p>また、本日の会議でございますが議事録作成の都合上、会議内容を録音させていただきたいと思っております。大変申し訳ございませんが、ご発言の際には挙手の上、議長の指名を受けた後、ご発言をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第により会長からごあいさつを頂戴したいと思います。会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、ごあいさつを申し上げます。</p> <p>今年は珍しく二日も続けて雪が降りまして、お寒い中、しかもお忙しいところ、皆様ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>早いもので、我々が任命されましてから22年、23年と、早くも2年が経過しようという時期に参っております。</p> <p>その間、庁舎の跡地の利用の問題等を主体にそれぞれ検討を重ねて参りましたし、市のほうも「まつ研」を主体にした研究会も5回ほど開かせていただいております。</p> <p>その間、この問題は庁舎ばかりではなく、松尾IT保健福祉センターの問題、市役所の建設の問題も含めて、いろいろな要素を絡めた事業でございました。それぞれ、皆さんからご意見をいただいていた訳でございますけれども、なかなか結論的なものは見出せなくても、少しずつ前進をしてきたかなということを感じております。</p> <p>今日の議題につきましては、そこに明記されております松尾地域賑わい空間創出事業についてということが1点。</p> <p>それから、これはその他に入るかもしれませんが、JRの問題が私の考えでは消えたかなというような感じで思っていたのですが、市のほうも色々ご努力をいただきまして、また違う方向でご検討いただいているようなお話も伺っております。</p>

事務局	<p>主な2点の提案につきまして、今日ご審議いただく訳でございますけれども、大体4時ごろまでの目安の時間について、皆さんによりよくご検討をお願い申し上げます。</p> <p>簡単でございますが、ごあいさつとかえます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日、市から本来ですと部長が出席をいたしまして、皆様にごあいさつ申し上げるところでございますが、3月の定例会が22日から開催をされる予定でございます。議会の関係上どうしても出席ができないということでございますので、大変恐縮でございますが、今日は欠席をさせていただきます。</p>
会長	<p>それでは、この後の議事につきましては、地域審議会の設置に関する協議第8条第2項の規定によりまして、会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、しばらく議長の席を使わせていただきます。</p> <p>まず、会議に入ります前に、山武市地域審議会運営要綱第2条の規定によりまして、会議録署名委員2名を指名させていただきます。</p> <p>花澤和彦さん、それから花澤政芳さん、両名をご指名しますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、早速議事に入ります。</p> <p>本日の議事、松尾地域賑わい空間創出事業について、事務局のほうからご説明をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、私、田中から松尾地域賑わい空間創出事業について、ご説明させていただきます。</p> <p>まず、松尾庁舎の解体に伴い、その跡地の活用について、地域の皆様方と一緒に松尾地域賑わい空間創出研究会という形で、跡地の有効活用等について議論をしております。そのこれまでの議論の内容について、皆様方にお配りをしております「まつ研通信」、こちらをご参照いただきながら、説明させていただきます。</p> <p>まず、こちらの創刊号から現在第4号まで出させていただいております。こちらは、第1回の会議、第2回の会議、第3回の会議、第4回の会議を、それぞれ創刊号、2号、3号、4号という形でまとめて出しているもの。第1回の議論の内容については、時間のあるときにご覧になっていただければわかると思っておりますが、それぞれの会議の概要をご説明させていただきます。</p> <p>まず、第1回、こちらは9月11日に行いました。参加人数は37名で、地域の方々と一緒になって松尾地域の賑わいを考えていきました。</p> <p>その中で、松尾地域の賑わいと聞いて思い出すもの、また松尾地域にこれからあったらいいなという、そういった賑わいについてどのようなものがあるのか、地域の方がどのように考えているのかを一緒になって</p>

考えています。

その際、今までの松尾の賑わいで思い出すものがどのようなものがあるかという、まず、昔から行われている道灌様とか浅間様のお祭り、地区ごとで行われた盆踊り、また、体育祭や駅伝大会、そういったスポーツ大会、小学校・運動公園等での映画の上映会、そういった意見がありました。

また、これからあったらいいなと思われる賑わいということであれば、道の駅のような特産物の販売や地域の情報提供するようなところ、また、あらゆる年代の人たちが気軽に集まれる場所や、住民が自由に使える体育館・スポーツ施設など、そういったものになってもいいのではないか、また、地域の物産資料や史料の展示等を行うことで地域の賑わいがまた生まれるのではないか、というような意見が第1回的时候はありました。

いろいろな今までの思いがあるかと思いますが、そのような多様な意見がありました。

次に、それを受けまして第2回、10月1日になるのですが、こちらは32名の参加がございました。こちらの内容については、「まつ研」の第2号に詳しい内容がありますが、その際、賑わいづくりのアイデアを絞り込んでいきたいと思います。

どのような賑わいをこの松尾庁舎の跡地で実現していきましようかというところを、重要性とか効果、そういった視点の中で優先度を検討しています。

そのアイデアの優先度、これは第1回で出されたアイデアを優先度をもとに検討した結果、地域物産の販売やPR、また、祭りをこの場所で行うことができれば重要性も高く、賑わいづくりの効果も高いのではないかという考えが地域交流、多世代間の交流、サークル活動、また学生の活動、そういったことも重要な機能ではないかという意見。

また、スポーツ（トレーニング施設等の整備）とか伝統食（太巻き寿司）。あとは体験ということで、そば打ち体験、そういったものを活用しながら、賑わいづくりという形でつくり上げていくというのも効果が高いのではないかという意見がありました。

この優先度を細かく各班やグループで検討していますので、その内容は第2号の裏面を見ていただきますと、効果と重要性の部分で、各グループでどういった形でいろいろな考えがあるのかがわかります。

続きまして第3回、今度は10月23日に行われました。こちらは28名の参加をいただいて議論しています。こちらは「まつ研通信」の第3号になりますので、こちらに詳しい内容が書いてありますが、第3回では跡地に詰め込む施設機能を具体化するということで、跡地に計画する施設に人が集まってくる目的を、「みる」「たべる」「かう」「する」という、その4つの視点から、より具体的に考えていきたいと思います。

で議論を行っております。

その中で、人が集まってくる目的について考えた上で、これらは誰がその行動を行うのか、実現するのか、また、特産品をつくりましょうというけれども、特産品とは具体的にどんなものがあるのかについて議論しました。

その検討結果が裏面に書いてあるのですが、大きく4つに分けられると思いますが、発表・展示というグループ、物品販売というグループ、また教室・講座というグループと飲食というグループの4つのカテゴリーに分類しながら、それぞれの具材、材料というのを整理していったところです。

続いて第4回ということで、12月11日に26名の参加で行っております。その内容は、この第4号に詳細は記載しておりますが、第4回はふるさと財団の専門家、秋山先生をお呼びしまして松尾地域の賑わいについてという題名で講義をいただきました。その講義を聞いた後、跡地で実現する事項の確認と課題を定義しまして、跡地における施設計画のコンセプトの1つの案として「食」と「健康と文化」という2つの案に分けて、どのようなコンセプトに沿った施設計画ができるか、施設工事ができるのか、それぞれグループごとで考えました。

その検討結果をまとめると、跡地には山武市、地元でつくられる素材を提供する場として活用することが必要ないのではないかと、食は施設のコンセプトによらず必要なテーマと考えられていますよと。カフェ、レストランというのは、それは必要ではないでしょうかと、あと、跡地を体験、学ぶための施設として位置づけることで、地元産品や昔ながらのもの、ことなどを、松尾地域の特色や伝統を通じながら地域が交流できる場とする。また、外からも人が呼べる場所として活用していきたいというような意見や、人を集めるアイデアに対して、誰がどのように行っていくべきかということ、もう一度よく考えていかなければいけないですねとか、そういった意見がありました。

その後、第5回ということで、今回まだ「まつ研通信」のほうは出してはいたのですが、1月22日、先月ですが、先進地事例ということで、26名で茨城県牛久市の「ポケットファームどきどき」という野菜の直売と、地元野菜を使った家庭料理レストラン、そういったものを併設した施設も展開しております、そちらのほうに実際に施設をつくっていく上でどのようなことがこれから必要になっていくのかなというところを勉強するために見てきました。

また、佐原に新しくできました道の駅、川の駅も併設している「水の郷さわら」というところも一応トイレ休憩を含めながら施設の見学をしてきました。

そういったところを踏まえながら、今後これまで研究会で示されていたキーワードということで、食とか加工販売、また直売所、地元食材、

交流、学び、また農業、健康、そういったキーワードが幾つか出されているかと思いますが、こちらのキーワードの中から松尾地域の賑わいをつくり出すための跡地の活用イメージを具体化していけたらと考えております。

その跡地の活用イメージの中では、地域の人を楽しめる場所とすることがまず重要ではないかということであって、地域の人たちが集まってくる場所にならないと地域の外からは集まってこないというような観点から検討を今後、進めていく必要があるのかなということを考えております。

一応、そういうことを、この4番の「まつ研」にまとめてありますので、後で時間があるときに見ていただければと思います。

今後の予定としては、第6回を今週日曜日、2月26日、跡地の利活用計画（案）ということで実施をする予定です。

跡地の活用イメージ（案）についてということで、これまで「まつ研」で披露してきた事柄を踏まえながら、市が検討するイメージとか、そういったものを今後、「まつ研」のメンバーと検討していきたいと考えております。

また、第7回ということで、来月3月ですが、今後の取り組みについての検討ということで、地域の担い手や活動体系、そういったものもまた考えていき、その後、跡地の有効な活用に向けた中の継続的な議論を来月以降も続けていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

一応、簡単ではありますが、「まつ研」の今までの取り組みと、今後の動きというところの説明をさせていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

課長、その他のほうで。

それでは、私から補足の説明等させていただきたいと思います。

今の「まつ研」という、これは市民の方々が参加されている会の中で今までの検討事項ということで、2つのテーマに少し絞られてきたというような段階でございます。

そういった中で、実は私どもは従来より、この松尾地域の賑わいにとって幾つかいろいろな要素があるという中で、駅の話はずっとさせてきていただきました。

地域審議会の中でも、松尾地域の賑わいは、駅の南と北を結ぶ機能としては非常に重要な要素だということで、これについては、昨年の実は12月27日に、再度JRと協議をさせていただきました。

その協議の内容というのは、私どもは再度確認をする意味で行ってきました。それは、1つには、今まで松尾地域が合併する前から懸案事項でございました自由通路の件、それと、今、南側はここにありますよう

会長

事務局

に、赤で着色しているところがシャトルバスの迂回するところになっております。

この南側に改札ができないだろうかということの協議。それと、ここに八石踏切という踏切がありますが、これの拡幅ができないだろうかと。それはいろいろな要素があるわけですが、そういったことで今までJRと協議をしてきました。

八石踏切につきましては、JR側は実は踏切の拡幅はいいでしょうということですが、実は、ご存知のとおり、先が踏切を拡幅するということは、今現在、大型のシャトルバスが通過をして駅のほうに行けないだろうかというような視点もございました。

そうすると、どうしても踏切を渡って、道路とこの反対側の道路、この距離がないので、もしかしたら踏切の中にバスが止まってしまう可能性もあるということで、実はこちらの駅前はこの通り、こちらの道路の拡幅がどうしても必要になる。または、直接こちらのほうに抜ける、これも道路の拡幅が必要になるということで、この辺はかなり厳しい状況にあるというのが現状でございます。

もう一つですが、自由通路についてでございます。これは、先ほど申し上げました12月27日の回答でございますけれども、駅構内に単独の自由通路を設置することは認めていない。駅構外に設置することは可能と考えるが、駅舎から最低200メートルは離れなければいけないということです。基本的にはホームがあるような、この間から200メートル離れないと、単独の自由通路は現在認めていないというようなお話を、協議の中でJR側から受けました。

そういう中で、実はJR側から単独の自由通路は認めていないけれども、いわゆる橋上駅、自由通路と改札を一緒に利用にできるような仕組みでございますけれども、こういうことであれば協議にのせることはできませんというお話を受けてきました。

ということは、両側に自由通路を併設して、駅を橋上という線路上につくりますが、ミニ橋上ということで、現在は平屋の駅舎ですが駅舎を2階につくりまして、双方から自由通路を通じて駅の構内、ホームのほうに入れるような仕組みでございます。

こういうことであれば協議にのれますよというお話を聞いてきました。ということは、これは簡単に言いますと橋上駅を検討するのであれば協議にのりますよということで、前と比べて、自由通路はだめです、南口の改札はだめですということよりも、かなり前進したご回答をいただきました。

市としましては、松尾地域の審議会から従来より意見書をいただいております。こういったことで、これが実現できれば、松尾が合併前から懸案事項であったことが、これは一度に2つの問題が解決できるのではないかと、これは私ども市としても積極的に取り組む必要があ

るのだろうと。

今まではこの話が、先ほど言いましたように、JRは全てノーでしたので、点でしか物を考えておりませんでした。そういった部分では、駅の整備ができるのであれば、これは面的な整備が多分できるのだろうと、考え方の中ではですね。

要は、空港シャトルバスは現在ここに停留所がありますが、橋上ができれば反対側に、ここに多分、空港シャトルバスの駅ができますので、そういったことでは南側の改札も含めてこの利用と、それから南と北を結ぶ面的な部分では、もうちょっと、今の基礎調査の中でもございましたように、この辺の地域の道路整備、この道路整備も道路拡幅するとはなかなか今すぐには難しいとは思いますが、この辺は当然、学校関係が多いものですから、ある部分では安心・安全なまちづくりという視点では、通学路をカラー舗装にしたり、あとは街路をLED化しまして明るくするとか、そういったことも含めまして面的な整備もこれから可能になってくるのではないかというようなことで、今ちょっと検討する余地があるというふうに考えております。

そういう中で、現在、「まつ研」で検討しております整備でございますけれども、先ほど説明したように「まつ研」の中では、これでいくのだという考え方がまだはつきり打ち出されていないという中では、多分、駅の整備をすると、少なからずとも、この跡地利用にもある程度、影響が出てくるだろうと思っています。

そういった部分では、ここにスタートする時点では、まだ2つの意見で絞り込めておりませんが、いずれにしても決まるまでは、最低限度必要な施設を整備するという考え方でどうかということで、次の「まつ研」では駅の話も含めて、その辺の整備のイメージをちょっとご検討いただこうかなというふうに思っています。

なかなか今、話だけでわかりづらいと思いますので、その最低限というのはどういうことなのかということで、ちょっとイメージ図をご用意させていただいておりますので、この辺をお示ししたいと思います。

これが、イメージの1つ目でございます。「まつ研」の4号の裏にもございますように、今現在、コンセプトとして2つのテーマがありますよというお話をさせていただきました。

1つが、山武市の素材を用いた食の拠点の施設ということで、ここは地元の産品を販売したり、加工したものを提供するとか、いわゆる今、朝市等もやっておりますが、それを常時できるような施設、そういったものをちょっとイメージで表現していますので、これをつくるということではないので、たたき台ということで、次の「まつ研」のほうにはご提案をしようかなと。

それでは次を。ちょっとわかりづらいですけれども、先ほどの写真が出ていましたものを平面図にするとこんな感じです。これがオープンス

ペースということをございまして、今、水色になっている部分が、例えばの話でございますけれども、オープンスペースということで、朝市等を実施するようなスペースを設けたらどうかとか、その下の黄色の部分でございますが、ここにつきましては加工スペースということで、地元の野菜等を加工して、これを提供しようというようなスペースをここにつくったらどうかとか、オレンジは物販の販売ということで、これについては、朝市等ではなくて、よく道の駅等でも売られているような、そんなイメージでスペースをと考えてみました。

これはごくごく簡単なものをございまして、そのほかにはここに防災関係である程度整備しなきゃいけないような防災倉庫ですとか、常設のトイレ、これは朝市、こんなものをつくったらどうかということをございます。

今、この位置はふれあい館がちょうど上にあり、その下になります。右側にちょっと空いているところが、消防機庫になります。それが前面の通りになっています。これは、かなり極端に右側に寄せてつくってあります。

これはどういうことかと申しますと、先ほど申しましたように、中央は人工芝、もしくは通常の芝でもいいですが、こういったオープンスペースをとりあえず設けておくということをございます。

当初はここに、洗心館を取り壊すようなお話もさせていただきました。これはきちっと箱ものを整備する場合に取り壊して126号から人を呼び込むような動線も考えたらどうかということ、本当にこれから恒久的に箱ものをつくっていくという考え方の中で、そうしたほうが良いという考え方が基本になっております。

そういった部分で、先ほど言いましたように、駅を整備するとなると、おそらく今後問題や違った要素が出てくるのではないかとということで、そういった部分では、先ほどの物品の販売関係をやる建物、これでもできれば変な話ガラガラポンできるような簡単なものでスタートしたらどうか考えています。

これが1つのイメージの図面になるようなものでして、もう一つでございますが、これが「まつ研」の8ページにもありますもう一つの「健康と文化の拠点施設」ということで、位置的にはやはり同じように、ふれあい館の前に今、予定をしております。あえてここに予定をさせていただいています。ここでなければ駄目だということではないです。

ちょっと中身、平面図を見せてください。

これは、右側のピンクに塗ってあるところが、建物の1階でございます。1階が、文化と健康ということですので、テーマとすると、これはトレーニングセンター的なものをちょっとイメージしています。

1つはスタジオ1というものと、それからギャラリースペースということで、1階でございますね。あと、管理事務所をちょっとそこには設

けてございます。これは、ほかで機能を満たせばここにつくる必要はないと思いますけれども、あと2階にトレーニングスペースということで、健康器具等を置いたものでやるわけでございます。

あと、スペース関係ですと、よく今はいろいろなサークルの活動ができるように多目的に利用できるようにということで、幾つかスペースを設けさせていただいております。

ここにも、やはりトイレ関係、こういったものを常設するという考え方でございます。

もう一つは真ん中の、グリーンになっておりますが、スポーツ関係ということでございまして、例えばの話でございますけれども、ここは、今フットサルというのが若い人の中で人気でございます。小さな、サッカーのコートの4分の1ぐらいを使ったミニサッカー、5人制のサッカーでございます。そういったものを2面設けさせていただくようなイメージで、今おります。

これにつきましても、どちらにしても、スタート地点はやはり後でもこの跡地をもうちょっと違った形で利用したいというものも含めて、こういった形で、今現在、右側でございますが、これは左でも別にいいわけございまして、そういった部分で一応配置をしまして、イメージをつくっていただくと。

こんなことで、次回の「まつ研」を26日に予定をさせていただいておりますが、ここで協議をいただこうかなというふうに考えております。

例えば、今まで松尾藩関係の歴史的なものを展示するスペースということで、ここではとりあえず、ふれあい館の2階を改修して、そこに展示をしたらどうかとか、いわゆる既存の建物を利用するというのも考えられるでしょうというようなことで、ちょっとイメージはつくらせていただいております。

今、2つのイメージをつくらせいただきましたが、これはあくまで、これでいくということではなく、今2つの考え方があります、ということを含ませていただくために、これはちょっとつくらせていただきました。

ということですので、個人的にいろいろなご意見が多分これから出てくるかと思いますが、最終的には今年度末には、ある方向性は出さなきゃいけないだろうというふうに思っておりますので、今日は地域審議会に初めてご披露するものでございますので、ご意見等がありましたら、よろしくお願いをしたいと思います。

ということで、今までと大きく変わった点は、松尾駅の整備の可能性が出てきたということでございます。これにつきましては、来年度も早々それを手がけるべく事業実施もちょっと予定させていただいております。

実際に、これが旧松尾のころからもいろいろ調査を実施して終わるま

で大体5年ぐらいかかるようでございます。これは基礎調査から基本設計、実施設計、工事が2年から3年かかるということを考えますと、5年ぐらいかかるというふうに聞いております。

ということで、今まで点でものをとらえていた整備を、少し面的に整備をするというよう手法も新たにできてきました。

例えば、面的に整備をする場合には、社会資本総合整備交付金と、いわゆるこれは旧山武地区がやりました、さんぶの森地区の、あららぎ館を建てたときに同じような国の制度を利用してやっているわけでございます。あららぎ館と、あとは道路2本整備をしております。

そういった整備事項も、これから面的に整備をするという考え方でありまして、ある意味では財源もそういうところから確保できるのではないかなというようにもちょっと今、考えております。

ということで、今日は今までにない1つの要素もございまして、これにつきましても含めましてご議論いただき、ご意見をいただきたいと思っております。ということで、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

今、課長からご説明ありましたように、我々が当初いろいろ話し合いをしていた状況と多少内容が変わってきたような感じも受けます。そういう問題を含めまして、皆さんからご意見を賜りたいと思っております。

大変恐縮でございますけれども、議事録の作成上、発言につきましても挙手いただきまして、お名前をちょうだいしたいと思います。

これにつきましては、今、全体につきましても一括して議題としたいと思っておりますので、皆さんのご質問を受けたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

はい、どうぞ。

鈴木です。事務局のほうにちょっとお伺いしますけれども、今、新しく事務局のほうから出ました橋上駅舎ですか、これは既に旧松尾のうちらから出ておる問題で、先行取得として今、シャトルバスのスペースありますよね。あそこを先行取得しました。そこで、その当時は、やはりJRとのかけ合いがありまして、ちょっと予算的に、地布久さんもいますけれども、あの当時は6億ぐらいの予算が出ていましたよね。それで、それをやっているうちに、この合併になった関係で途切れてしまいました。

この合併がなければ、旧松尾だけでもできたと思います。そういうことで、一時休眠状態であったものを、再度それを持っていつてもらったことは私も感謝いたします。ぜひ、これは長年の松尾の懸案事項でございますので、是が非でもこれを成し遂げていただきたいなということでございます。

そうすれば、やはりこれは両方の通路が、入口ができれば、今日この跡地の利用も再度違った形で出てくるのではないかと私も思っております。

会長

鈴木委員

<p>会長</p>	<p>ますので、ぜひこの駅舎だけは早急な手配をしていただきたいなど、そういう思いでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>地布久さん。</p>
<p>地布久委員</p>	<p>地布久ですけれども、今、説明のあった第2案のほうで、スポーツジムとか、そういうのを入れるというふうな考えがあるということ。それに対して今度、松尾 I T 保健福祉センターのほうには、本当はここがそういう施設を入れる予定だったのに、こっちに入れるということは、ここは（松尾 I T 保健福祉センター）もう、そのようなものはなしで、何かこっちに会議室とか、そういうのをつくるというようなことですか。両方2つつくっても仕方がないと思いますので。</p>
<p>事務局 会長 事務局</p>	<p>議長。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>今までも、松尾 I T 保健福祉センターの活用によっては、松尾の跡地につくる施設も違って来るだろうというお話の中で、いろいろ私ども、松尾 I T 保健福祉センターの活用については、例えば松尾 I T 保健福祉センター側にも多目的室ですか、結構広いところがあって、あそこを少し改造すればトレーニングジムとか、そういった器具を置けるのではないかというようなお話もさせていただいたのですが、実はやはり松尾地域の健康管理という部分の施設の中では、そこは健診をする場合にどうしてもその多目的室が必要だということで、1回でも2回でも健診する場合にそこに器具があるとその機能が失われてしまうということなので、そういう利活用はちょっと難しいだろうということでございます。</p> <p>そういった部分では、今まで私ども生涯学習機能もある程度そこに移せるのではないかという期待を持っていたのですが、そういうふうになりますと、なかなか活用が難しいというのが現在の状況になっております。</p> <p>そういう中で地元の人たちの意見の中にも、この健康志向の中にもう一つ市民の人たちが健康増進のために利用できる施設が松尾にはないので、そういったものも取り入れていただけないでしょうかという意見が一方ではありますので、こういう案をちょっとお示しさせていただいたわけでございます。</p>
<p>地布久委員 花澤（政）委員</p>	<p>わかりました。どうもありがとうございます。</p> <p>花澤です。今、事務局のほうから駅の自由通路ということと橋上駅、この辺の中身になりますと金額は大体どのくらいの予算でしょうか、昔の絡みもでございますけれども。また、もしやるとなれば、どこの駅に似せてつくるのかということがあると思います。</p> <p>橋上駅で自由通路ができるということであれば、佐倉の駅だとか酒々井の駅だとか、その辺のところそういうふうになっております。</p>

事務局

八日市場だとか、そういうのはありますけれども、あれは下に駅舎がありますので、橋上駅ということであれば、差し当たって私の知っているところは酒々井だとか佐倉の駅だとか、その辺、また都賀、あちらのほうになりますけれども、その辺のところを見て、言っているのかと。

それと、あとは予算的な絡みもあると思いますけれども、JRは一銭も出さないと思います。お金のほうは、全て市が持つということで、いろいろな中身において、またメンテナンスについて、JRで使うものについてはJRが用意しますけれども、あとは全部、市持ちということであって。

それと、あとは、自由通路ということであれば、私の知っている限りは、要するに清掃問題についても全部市が持つという絡みになります。その辺のところを全て考えてやっているのかなということを知っている限り教えていただければ。

イメージでございませけれども、描いていただくのであれば先ほどおっしゃったようなイメージでだと思いますが、ただ、駅の意匠といいますか、形は特にはこだわらないそうでございます。ですので、こういう格好にしてくれということであれば、それはそういうふうにつくれるそうです。

実は、先週、国交省の自由通路関係の説明会にちょっと行ってきまして、坂戸駅という駅の、これは東武東上線が走っているところでございませけれども、そこのやはり南北の活性化ということで整備をされた、その事例なんかを参考にさせていただいているのですが、そのときに、やはり駅というのは最初にどういうイメージでつくるかというのは決めておいたほうがいいそうです。ですので、別にどこの駅の形にしなきゃいけないというようなことはないそうです。

ただ、駅には駅の決まりがありますので、その機能的には要件はあると思いますが、形は決まっていない。

先ほど言いましたように橋上駅というのは普通は橋上ですから線路の上に駅舎があるというようなイメージですけれども、経費を安くするために、俗に言う線路の上ではなく、今、1階に駅舎があるところの2階に駅舎をつくるということになります。ですので、どこが一緒になるのかというと、南から階段を上がっていても2階の部分からホームに降りられる。北から上がっていても2階に駅舎がありますので、そこで改札が。

駅に降りて、駅の電車を利用しない人は、そのまま自由通路ということで利用するというような、これがちょっとお金を節約したやり方というふうに聞いております。

予算は非常に難しいわけございまして、自由通路の距離、例えば線路がいっぱい通っているところとか、その渡す距離によって整備する費用が変わってくるということです。

ですので、一概に今、幾らというのは、これから例えば調査をしまして、その調査の中で概算の費用が出てくるかと思いますが、とりあえず今のところは幾らというのはちょっと。

松尾も、おそらく駅舎が今よりも公園の中といいですか、公園側にちょうど入るような形でできるのかなと。そうしますと、ちょうどこちらの南側のロータリーにかかるといようなこととございますので、ですから、その距離の関係でちょっと費用が変わってくるかなというように思っております。

それから、JRの負担でございますが、先ほどもお話があったように、JRの負担はそれほど期待できないということで、これはどこの駅を整備してもそういうルールといいですか、そういうものがあるということとです。

極端な話、八街も相当な費用をかけて橋上駅をつくったようですが、本当にJRの負担は少なかったというふうに聞いております。

それから、維持管理でございますけれども、これはつくる時に要素としました駅舎の部分については当然JR側が持たなければいけないわけとございます。それと、通路も自由通路にするのか、その場合も駅を利用する自由通路にするのか、それとも我々が一般の生活の中で使う道路と同じように道路認定をするような道路にするのかによって変わってくるかと思っております。また、維持管理の中にはエレベーターが、これは多分つけなければいけない。多分、合計で4基つけるようになるだろうと思っております。

そうすると、駅の構内については、当然、維持管理はJRで持ってもらうとか、先ほど言いました自由通路関係、道路認定等をしますと、当然道路とございますので、市が管理をするとか、これは、その構造によって維持管理は変わってくると思っておりますが、これは1つのルールにのっとって維持管理をしていくのであろうと思っております。

すみません、もう一点。先ほど、踏切の拡幅という話が出ましたけれども、それはどのようなのでしょうか。

踏切の拡幅ですけれども、ポイントが駅のこの辺にありますね。これを避けてやるので、ぎりぎりそこからこれを拡幅していくのだと思います。

ただ、拡幅をしましても、やはり、先ほども言いましたように、大型バスですと相当長いわけとございますので、ここに車がいたり、それからここを左折するのにアールが足りなかつたりしますと、バックしてまた切り返してというのは、多分これはできないと思っておりますので、警察協議の中で安全性の問題で許可にならないということとですので、この道路の拡幅が必要だというふうに思っています。

ポイントがあるのはわかっておりますが、そのポイントをまたいじくるとなると何億という金がかかるということなのでしょう。

花澤（政）委員
事務局

花澤（政）委員	<p>それと、松尾の駅は線路の有効長が長いので、この有効長もまた今後の中で有効活用すれば、快速が松尾まで伸びてきたりとか、要するに待避線をつくれるような場所があれば伸ばせるとか、そうなってくるとやはりアクセスの管理も変わってくると。成東側には3本の通路があります、3本の電車の線路が。あれは1本は全然使えない、夜は、そこに電車は入れられない。2本だけは収納できますが、何かの通過線ということで1本残してあります。夜の待避の中で、専門的なものですけどもね。松尾は今、2本しかございませんから、その2本をうまく活用して、もう一本うまくつくれるような状態をできれば、松尾まで快速が入ってきたり、というようなことも今後考えられるということで、余りポイントをいじくりたくはないわけです。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りで、ポイントをいじると、とんでもないお金とられますので、これはもうできないというのがまず結論でございます、多分、拡幅するのであれば銚子側のほうに広げるのであろうと思います。</p> <p>ホームの延伸の話だと思えますけれども、今、JRは快速電車の増発というのはかなり厳しいお話をされています。私どもも、八街、それから酒々井と山武市で複線化促進協議会、快速電車の増発の協議会を設けて、そこでJRのほうに要望に行っていますけれども、快速を通すと10両編成になるそうです。そうするとですね……</p>
花澤（政）委員 事務局	<p>15両です。 最低でも何か10両。</p>
花澤（政）委員 事務局	<p>11両です。</p> <p>はい。それが、停まれない駅は通過しなきゃいけないというのがまずあることと、普通電車のほかに増発するのではなく、普通電車を快速電車にするのだそうです。もしやるのであればですね。</p> <p>すると、今まで停まっていた駅が今度は停まらなくなってしまうとか、そういうことがあるので、なかなか全ての駅に快速電車が停まれるように整備をするというのは、今、非常に難しいということと、少子高齢化の中で利用者がかなり減っているということで、これは私どももホーム延伸をして快速電車が増発していただけるのであれば、それをぜひやっていきたいなというふうに思っていますが、もうちょっと情勢を見据えた中で検討をしていきたいというふうに今、思っています。</p>
大津委員	<p>大津です。大変明るい話題が広がっていますので、橋上駅なり自由通路ができそうだという話が出てきているわけですがけれども、私なんか駅の周りの話が変わったというから、芝山鉄道が松尾まで来るのかなと思ったのですが、そのくらいにしないと駅の賑わいというのは出てこないだろうと思っています。橋上駅や自由通路を否定するわけではないけれども、大いに進めていただきたいと思います。</p> <p>ただ、時間がかかるのではないかと、それと、その進行を見ながら土地を考えるとというのは、ちょっと不可能ではないでしょうか。どうして</p>

事務局	<p>も、跡地利用のほうは先行して考えざるを得ない状況ではないのかなと思います。その辺の兼ね合いはどうなりますでしょうか。</p> <p>駅の整備もやはり5年ぐらいかかるということでございますので、確かにそれまで待ってられないというような考え方もあると思います。</p> <p>先ほど言いましたように、松尾地域の賑わいのために整備をするといった場合、例えば箱ものをつくりますといったときに、本当にそこに賑わいができるものがあれば、多分すぐ取りかかると思います。箱ものを整備したときに、ちょっと想像していただきたいのは、例えば、今あったように、どちらのものにしても、想像したときに本当に人が来なくて利用されなかったときに、ここはどうなるのだろうというのは、やはり、それも一方では考えておかなければいけないと思います。</p> <p>だから、そういう部分では、例えば数億円かけてきちっと箱ものを整備しました。その後、ほとんど利用されませんというのは、ある分では小さなものでもいいと思いますが、やはり一方で想像すると。</p> <p>今、私どもが考えているのは、やはり何もしないということでは全然スタートを切れませんので、せっかく「まつ研」で協議をされている中で2つ意見がある程度絞られてきましたので、この実現可能性の中でどれだけのものができるのだろうかとか、そういったものをこれからまとめていく必要があると思います。</p>
大津委員	<p>答えになっているかどうかわかりませんが。</p> <p>はい。それで関連して意見として申し上げたいことは、どんなに工夫して建物を建てても、やはり人は自然には集まってこないだろうと思います。いつか新聞にも書かれていたけれども、まちおこしには、イベント主義というのはやはり1つの発想がありますよね。</p> <p>ですから、この間来た大学の先生がどういうふうにおっしゃったかわからない。僕らも素人だけれども、何か食文化なら食文化を中心とか、あるいは、見るとか学ぶとかということのテーマはすばらしいと思うのですよね。</p> <p>けれども、それに沿ったイベントづくりをしていかないと、人は自然には集まってはこないだろう。そういう施設をつくって、そういうテーマのもとに企画をして、毎週やるとか毎月やるとかというのはできないけれども、年間何回かをやると。それを食文化でいたり、いろんなスポーツイベントでいたり、いろんなものを織りなしていくと、年間通していろんな行事ができると思うのですよね。</p> <p>それで、年間通して、スポーツで汗流したな、あるいはラーメン祭りやったら大勢来てラーメン食べ、いわゆる食祭りですね。ラーメンも太巻きずしも、何でもいろんな食の文化を集めて、そこで祭りをやると。それも年に2回か3回やると。スポーツならスポーツで、サッカーやったり何やったり、あるいはお年寄りの敬老のイベントを組んでゲートボールやったり、踊り、ダンスをやるとかという、誰かがそれを企画しな</p>

事務局	<p>い限りは動けないと思うのですよね。</p> <p>ですから、片やどういうものをつくるか、あるいはどういう賑わいでどんなイベントを企画していくかというのは相関関係だろうと思うのですよね。その辺の企画が非常に大事だというふうに思うのですが、その辺はどう考えているのですか。</p> <p>まさにそのとおりだと思います。ですので、先ほど一方では食をテーマにした建物を建てたときに、では、これは誰がやるのかとか、どういう内容でやるのかとか、そういう企画を、多分これ行政だけでは無理だと思うのですね。</p> <p>そういう中で、先ほど言いましたように、箱ものだけ立派でも中身が伴わないと本当に使われない建物になってしまうという中では、スタートして、皆様の知恵とか工夫によって、こうしたほうがいだろう、ああしたほうがいだろうというもの具体的に出てきたところで、本当にこのような規模ではなくてもっと大きいほうがいいよねとか、そういう視点に立って、もしきちんと整備するなら整備していても遅くはないのかなという気はしています。</p>
古川委員 会長 古川委員	<p>そういう中で、駅の整備で賑わいというのは多分、本当の賑わいではないのだらうと思っています。ただ、イメージは変わると思います、まちの顔ですので。そういうことであれば、片方やらないわけではないのですが、やることによって、ある部分ではまちの顔というのですか、それは整備されるというのは現実に多分想像できると思いますので、そういうものはやはりこの地域にとっては選択肢の1つにはなるだろうというふうには思っています。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>古川です。2つばかりある。今、駅の問題も、さっき鈴木さんがおっしゃったように、私も前に述べさせてもらいましたが、松尾町の南口という構想で大々的に、私なんかかなり当時、期待していましたが、ぜひ南口を主体にした駅というのを十分交渉していただきたいのと、先ほどちょっと踏切の拡幅というのがありましたもので、私もセイミヤと松尾IT保健福祉センター、セイミヤさんが主なのですが、こっちに、学校側に医療関係と各医院と、あの踏切がちょうど線路伝いにずっと道路がありますよね。あれが太いものですから、どうしても一時停止して、この上側は狭いものですから、駅のほうから来たのと小学校から下りて来たのが結構詰まりますよね。だから、もしできるのであれば、そういったものも兼ねて、拡幅のほうも両方していただければと思っています。</p> <p>それと、もう一つは、さっきの2つありました案の2番目のほうですが、私も山武の元気館というスポーツ施設で、あそこにお風呂入っている話と聞きますと、まず地元の方というのは、よくあの名札</p>

<p>土屋委員 会長 土屋委員</p>	<p>に全部、住所、氏名、職業を出しますから、多分この委託しましたから、あそこにアンケートを1回とっていただければ。その中で、さっきの無駄な箱ものというのは、なるべくそういうのも頭に入れて会議して欲しいと。</p> <p>以上です。</p> <p>会長、私も。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>土屋です。駅の通路のことにしましては非常にいいと思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。</p> <p>それから、先ほど話にありました1案、2案の件で、2案のフットサルの空間の利用がありましたけれども、サッカー場というのはとれないものですかね</p> <p>いや、それはあれですね。とりあえず、どうせ、フットサルも今、人気があって、人を集める要素というのはかなりあると思うのですよ。前からちょっとお話ししていましたが、サッカーをするのにこの辺できちんとした会場がないですよね。山武郡にはもちろんですけども、千葉県にも、まして駅の近くでそういった施設があるというのはほとんどないものですから。私も鹿島のスタジアムも何度か行きましたけれども、あそこもスタジアムができると、駅もすぐできたのですよね。だから、今、車社会ですけども、やはり電車を利用して、そういった人の集まる要素というのはかなりあると思うので。</p> <p>もし駐車場や、また、シャトルバスの下のほうにでも学校ができればということもありますし、できればそういった駅を利用した中でのその空間を利用していただいて、さっきの2案のあたりを推し進めていただくと人が集まって、そのサッカー場だけではなく、人工芝でやっていただければ、例えばさっき大津先生から話がありましたように、ゲートボールだとか、そういった面も多分利用できるような施設として、あと、ほかにまた人が集まる、利用できるような形ではできると思いますので、ぜひ進めていただきたいと思いますので、よろしく願います。</p>
<p>小槲委員 会長 小槲委員</p>	<p>小槲です、いいですか。</p> <p>はい、願います。</p> <p>小槲です、よろしく願います。</p> <p>駅舎のほうのやつは、四、五年前に商工会でも大分地元、旧松尾町で検討したことがあるのですが、なかなかこれでもできればいいと思いますけれども、これには乗降客の何か最低の問題もあると。橋上駅だけで、当時1億かかるというような話は伺っておったのですけれども、今は松尾高校があるからあれでしょうけれども、生徒数が減っているから恐らく松尾の一日の乗降客は千人以下だと思いますけれども、これは本来、橋上駅で、エレベーターまでつけると何千人の乗降客がないと厳</p>

<p>事務局 小榑委員 事務局 小榑委員</p>	<p>しいというのは先般話を聞いていたのですが、我々もできれば大変結構なことと思っています。</p> <p>それと、もう一点、さっき出張所のところにつくる配置図がありましたよね。この画面、出ますか。あの建物、出張所。</p> <p>2つ目のやつですか。</p> <p>2つ目のほうです。</p> <p>スポーツ。</p> <p>うん、そうですね。あの建物の部分で、ええ、それですね。トレーニングスペースって、ありますよね。その建物をそちらの道路のほう、ふれあい館の手前につくるようになっていきますけれども、これはふれあい館の今、白地になっている部分、洗心館のほうがありますよね。向こうに寄せた場合には、どうなのでしょう。あくまでもあれは126号からの出入りができる、つくるという条件で、ふれあい館のある消防機庫のほうにつくるということですか。</p>
<p>事務局 小榑委員</p>	<p>施設の北面にということですか。</p> <p>そうですね。本来は、126号からの進入路をつくれば、そこに建てるのはちょっと無理かと思うのですよ。</p>
<p>事務局 事務局 小榑委員</p>	<p>白地はあれです、今現在は……</p> <p>これは、ふれあい館の2階になります農事研修……</p> <p>だから、そのこっち側をあのスペースを使って、そのかわり消防機庫がありますよね、入り口。あの辺の道路をとれば、とてもスペースが広く、道路、併用をとってしまえば広く使えるのではないかなと、私も箱ものをつくることについてのスペースの配置のことで今言っているのですけれどもね。あくまでも、126号からの進入路をつくれば今の形でいいかと思うのですけれども、もし進入路を126号からあるもとの派出所のところのことを言っていると思うのですけれども、それをつくらないものであれば、逆にふれあい館と同じような横並びのほうが前は広く使えるのではないかなと思うのですけれども、その辺いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>将来的なことも見込んで、そういう可能性も残して今、とりあえず右側に配置をさせていただきました。</p>
<p>小榑委員 大津委員</p>	<p>この洗心館も、今使ってみてもらおうとわかるのですけれども、内容的には結構古くなっていますし、まずはバリアフリー化の部分ではエレベーターがないということもありますので、将来このままこれをずっと使っていくのか、そういうものも含めて、これにかわるもの、新しいものをつくることは別にして、万が一この広場をもっと有効活用、126号から人を呼び込むのだという考えがあったときに、真ん中に建物をつくってしまいますと融通性がなくなってしまうので、とりあえず一番右に、あそこに決まったわけではなく、配置をさせていただきました。</p> <p>わかりました。</p> <p>接続は、やはりあのわきの道を広げたほうがいいよね。駐在所。駐</p>

古川委員 大津委員	在、この間は高低差が1メートルありますよ。126の路面と洗心館の土台、1メートル。大変ですよ、これ。
地布久委員 古川委員	その辺ぐらいまで傾斜で持ってこないと。 持ってこないとだめなのです。だから、今のわきの道を使ったほうが、あれを使ったほうが非常に有効だと思いますね。あれが困ったな。家があった。うちがあったから。 松尾 I T 保健福祉センターの中では、バスケットとかできないのですか。
事務局	松尾 I T 保健福祉センターというか、ふれあい館ですよ。2階は、基本的には、球技は余り使っていないのです。使えるようにすれば、ある程度改修すればですね。
古川委員 事務局 古川委員	床は。 床は、その対応は可能だと思うのですね。 元来、農業の人対象の施設なのでしょう。運動不足でそういう目的でつくったわけでしょう。
事務局	だから、最初想定が、例えばダンスだとか、そういったものが主で、あと音楽活動だとかですね。
古川委員	うちの孫なんか、小学校の体育館でフットサルやっているよ。一宮ですよ。それで、中はネット張ったりすれば、そのほうが安上がりになりますよね。屋内だしね。
事務局 古川委員 事務局	対策をすれば不可能ではないとは思いますがね。 いくらでも出来ますよね。 学校によっては、使用させない学校もあるのです。サッカーのボールが結構壁なんかに当たると、結構いろいろなところにはしご……
古川委員 会長 齊藤委員	だから、それなりのあれ。そのほうが建てるよりは安上がり。 何かありませんか。齊藤さん。せっかくだから。 齊藤です。いろいろなことが出てきて、駅のことが出てきたのは、すなわち空港からのいろいろな補助金の絡みでもあるのかなと。シャトルバスが入ってとかという話が出てきて、何かすごくいろいろなふうに分らばってしまって、もとがちょっと確実なものはなくなっているのかなとか、本当は私たちの希望は何かというのがずれてきているのかなとか思って今、聞いておりました。
	まず、この跡地の中に道路が入るということは、土地がまず二分されてしまいますので、それではなくても狭い土地が二分されて、みんなが集まるとか、そんなもののレベルでもない話になってしまう気がするし。傾斜があるということを知れば、これはどう考えてもここに道路を入れるのは不自然な考え方ではないかなというふうに思いますね。
	この脇の、この道路を今、大津さんが使うということをおっしゃいましたけれども、それが一番理想ではあるのですけれども、幅の面でどうかということがすごく重要な課題になってくるので、私も今日来るに

	<p>当たって、跡地がどうのという前に、私は今のところに、ふれあい館のわきにつくるのというのは考えて、今日は来ました。</p> <p>跡地、跡地と言って、ここを壊してからではなくて、既にこのわきにそういう施設をつくり出すということのほうが、今はもう重要ではないかと。私がここに関与してからも数年たっておりますので、もっと動き出してもいいのではないかと、そういう思いで何にも言う気にならなかった。申しわけありません。</p> <p>駅の話は非常にいいし、そういうふうになりたいと思いますけれども、乗降客ということで絶対これから先問題が出てくる部分で、さっきの話にも出てきましたが、高校生の数で結局もっているような駅で、既に夕方から駅員の方がいないという状況の中で、考えられるのはやはり、この駅の違う条件の中にはシャトルバスのことがすごく大きな部分を占めているのではないかというふうに思うと、あの実現ということにちょっとやはり動き出してくださったのですから、それはありがたいことです。それはそれで動いてもらいたい。実現に向けて市のほうは努力をしてもらいたい。そう思いますけれども、今、私たちは、この跡地についてのことで話し合っているのであれば、具体的にもう動き出すときではないかというふうに思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>では、今のことを。</p> <p>駅の整備については私ども、JRの協議の中で私も同じような質問させていただきました。駅の規模、いわゆる乗降客等によって制約を受けるのかどうかということでしたが、それは受けないそうです。</p>
<p>齊藤委員</p>	<p>これは、どれだけ地元がそうしてほしいかというような気持ちがあるかどうかということで、最終的にはJR本社が経営判断をするということですので、そういった部分では、基準があるかないかというふうに聞いております。</p> <p>それと、すぐ始めたらどうかということなのですが、それも1案、2案もまだ「まつ研」、せっかく皆さん集まっていたいて、本当に真剣になって考えていただいています。本当に方向性がこれでいくのだというところまで、まだいっていないものですから、そういった部分が本当に地元の人がこれでいいのだというコンセンサスがあれば、それはそれで検討する余地があると思いますので、その辺はちょっとご理解をいただきたいというふうに考えております。</p>
<p>齊藤委員</p>	<p>齊藤です。ここで、話し合われたことは、そちらに影響力はあるのですか。「まつ研」に、あるのでしょうか。あちらに影響力はありますよね。ここで、それはないですか。結果を聞いて……</p>
<p>会長</p>	<p>影響力というか、ここで決めるということではなくて、意見としてはね。</p>
<p>齊藤委員 会長</p>	<p>意見として、ありますか。</p> <p>はい。</p>

齊藤委員	<p>それでしたら、やはり私も、先ほど話題になりました食の文化とか、ここにありますよね。すごく心配です。後の運営が心配です。こういうものをつくったら運営が心配です。誰がどう担っていくかということ、まず最初に考えるべきではないかと私は思います。</p> <p>だから、影響力を与えますかという意味は、そういうアドバイスを誰かが今、燃えてこういうふうになり上がって、話がいろいろこの中に読むと書いてありますが、その後をどうするか。似たような道の駅というか、蓮沼の「オライはすぬま」というのは随分うまく回っているのではないかと思うのですけれども、果たしてということを見ると、すごく心配になってしまいます。こういう向きで動いている自体が心配になってしまいます。主婦として。</p>
事務局	<p>今、委員さんがおっしゃった心配が、我々も一番あります。ですので、いつでも言うのですけれども、本当に行政が箱ものをつくるのは簡単なのです。簡単と言うと、税金を使いますので怒られてしまいますが。ただ、本当にそれでいいのかというところで、今回、本当に地域の人たちに参加していただいて、やはり地域の人たちが本当に喜ばれる建物なり、その活用方法ですか、建物には限りませんが、そういった部分では松尾地域、山武市も今回の試みは多分、初めての試みでございますので、これは今回の計画ができて終わりではないというふうに考えています。</p> <p>できれば、この研究会はずっとこの地域の何かいろいろな問題が出てきたときに本当に真剣になって考えていただけるような一つの組織になって育ってくればいいかなというふうに思っていますので、また機会があればこういう「まつ研」にもご参加をいただいて、どんどん意見をいただければ非常にありがたいかなというふうに思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長 周東委員	<p>周東さん、どうぞ。</p> <p>駅の話は突然出た話でね。そこの土地に役場が入ってなかった。あの入れ物、入れ物って、松尾IT保健福祉センター。松尾IT保健福祉センターに何しても新しくつくれないというのはどういうわけですか。あれも利用しないといけない。幾ら会議室がいっぱいいるからといって、あれを全部会議室にするわけにいかないでしょう。たしか、スポーツジムのなものをつくったり、会議室だって、我々は大勢あそこで会議しましたよね。使う子供たちのために、恐らくこちら側にあるのだから。</p> <p>あと、事務所のところなんて一体何に使うというのだよ。ここへ今、この話ししているときに、ここだけの話であって、向こうとこのつながりは全然ないのでよね。要するに、この跡地の利用に対して、この跡地を利用すると同時に、あちらのほうの跡地も一緒に並行的に考えていけばいいのではないかと思いますね。</p> <p>それから、せつかくとったアンケートも「まつ研」が一生懸命やって</p>

事務局
周東委員

いますけれども、「まつ研」がつくってきた最後の「まつ研」の考えた結論と、この初めにあれをとりましたよね、あのアンケートを。あれは業者は違うのですか。コンサルタントは違うのですか。

同じです。

同じなら、同じものができるとは、結果的には。表紙つくったり、いろいろなものつくったら違うけれども。その中に、この先生が一番初めにいったときには、松尾町はやはり農業だ。農業を考えなきゃいけない。私は、あまり専門家ではないのだけれども、近ごろ行列のできる農産物の直売所というのがあらゆるところにありますよね。これは、逆に言えば、農協と組んで、そして、やはり現地でできたものを現地の人がよく使うと。そして、農業の発展につながるように、例えば今、みんな年をとってしまってやりたくない、しかし中には優秀な人もいるのだから、その人たちと農協とか我々サラリーマンのOBで田舎へ帰ってちょこっとやろうとか、そういう人たちもいると思うのですよね。

そして、そこで安い新鮮なものをつくって、自分たちの手で売るということによって、新しい品種のものもできるかもしれないし、それに対する農業が先に進んでいくのではないかなと思うのですよね。今、もう、なり手がなから農業なんかどうでもいいのだなんて感じになっては、おかしいことになる。

それから、このアンケートを見るとファミリーレストランをつくってくれと。ファミリーレストランは、そう簡単にはいかない。これは商工会あたりに話しして、マクドナルドというのがありますよね。松尾だけではないならば、場所の問題があると思いますけれども、あれだったら学生たちが入って、お茶を飲みながらハンバーガーみたいな形もいいと思うのですけれどもね。そういうことが必要ではないかなと思うのですけれどもね。

あと、入れ物をつくってしまって、あと、それが遊びになったらどうしようかと考える前に、その入れ物は絶対に必要なのだという、要するに数字的に裏づけがないといけない。

例えば農家は何人、何を生産します。そういうふうな考え方でいかないと、いつまでやって、期限を考えれば、どんな建物もできるし、必ず事業、何々にしたって、初めにきちんとしたデータをそろえて、我々のところにデータはみんなあるわけです。農家は何人と、何が何、生産物は何が有名なのだとか。

我々素人が知っているのは、塩のネギ、あのネギは甘いですよ。うまいですよ。そして、虫がつかない。ネギなんていうのは、真ん中に消毒を頭からかけてみた。自分では、ほとんど食べないですよ。そういうものがつくられるネギがあります。おれなんかも大々的に作り上げて売ればいいのだけれども。

ゴボウなんかも、ゴボウはうまいですよ。だけど、我々はなかなか

	<p>手に入らない。日曜日によく農家の皆さんが集まってやりますよね。そのときをねらって、買いに行くのです。ちゃんと裏取引してしまって、それはもう決まっているからだめだと、くれないのだ。それだけ要望が多いですよ。だから、必ずそういうことになると思うのだよね。</p> <p>私は、素人だからわからないけれども、農協でも、この農産物の直売所というのは一生懸命やっていますから、その彼らのOBですか、要するに力を借りなければね。</p> <p>それから、商工会だって食堂をつくるという、食堂をその隣へつくっているのですよね。簡単なレストランみたいなやつを。そして、それを直営でやるか、いろいろな方法を考えて農家の皆さんでやるのか、女性がね。そういうふういろいろな考える方法はあると思うのですけれども、ひとつよろしく。</p> <p>やはり商工会だとか、あれを巻き込まなければだめですよ、農協。僕も松尾の農協はさっぱりわからない。</p>
<p>古川委員 周東委員 古川委員 周東委員 土屋委員</p>	<p>ここに、農協の理事がいますよ。</p> <p>理事さん、どうですか。</p> <p>先程から話しているので。</p> <p>大変でしょうけれどもね。</p>
	<p>せっかくいい話をいただいて、農協、うちは役員ですけれども、今、直売所については、農協で緑の風ということでやっていますので、例えば松尾で今、朝市のほう、これも出ましたけれども、個人的なのですけれども、場所的に、地域的にどうかなと思いますので。</p> <p>農協としては、やはり緑の風という直売所やっていますので、それ以外に例えば松尾町でこういったものができるかというのは、かなり今、蓮沼の「オライはすぬま」と芝山に今度道の駅になりました「風和里」がありますけれども、芝山は風和里が成功したということで、もう一つ今度「空の駅」とか、何かあっちへまたもう一つつくるようすけれども、立地条件が通り、流動人口も結構あって、例えばこの松尾町でどうのこうの考えたときに、これは私、個人的な考えですけれども、ちょっと場所的にはどうかなと。人の集まるいいものがあれば、人が集まってくるのでしようけれども、ちょっと外からのあれはどうかなと思います。</p>
<p>周東委員 土屋委員</p>	<p>松尾の町民だけでも、みんなそろって買えば。</p> <p>そうですね。今、地産地消ということで、地元の人を利用するような形でやっていますけれども。</p>
<p>周東委員</p>	<p>松尾も、商売うまくいかないのは、みんなが買わないからですよ。今、冗談で言ったのだけれども、おまえたちは俺たちに売ってやっているのだと、そういう感じを持っている。それも自分たちのものであるから、自分たちで力を合わせてね。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>鈴木ですけれども、跡地利用をそれこそ最優先に考えなきゃならない</p>

<p>周東委員 鈴木委員 周東委員 鈴木委員</p>	<p>私たちです。</p> <p>そこで、拠点としまして私、個人的な意見は、食の拠点というより、やはり健康面を考えた健康と文化ですか、そういった施設の拠点にしてはどうかと思うのですよ。余り食のことを考えると問題が出てきますので、やはり健康志向で、そういった体育的な関係の施設を現実に建てたほうが、この場所はいいのではないかとということでございます。</p> <p>やはり、ある程度まとめていかなければならない時期ですけれども、食について私は余り考えないほうがいいと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>その理由は何ですか。食を考えなくてもいいという理由は何ですか。</p> <p>やはりその……</p> <p>我々が生きていくに、食がなければ生きていけないですよ。</p> <p>いや、それは、食のことは、ほかでいろいろな手当てができるのですよ。ここではなくて。ここは、ある程度健康面を考えたほうが。</p>
<p>周東委員 会長 北田委員</p>	<p>私は頭でも考えたのは……</p> <p>北田さん、何かないですか。</p> <p>私は、松尾中学校のPTAのほうなんかに来ておりますけれども、昨年の3月11日の大震災で松尾中学校、各小学校に避難をされてきた方が何名かいたようです。</p>
<p>会長</p>	<p>実際に、この山武市内の全てだと思えますけれども、停電になりますと暖房もきかない、電気もつかない、そういう状態で、蓮沼のスポーツセンターが蓮沼地区の避難の場所にありましたけれども、やはりこれも消防の発電機を使ってライトを使うとか、かなり苦労されました。</p> <p>今後また何十年、何年以内という、かなり大きな地震も想定される中で、こういった施設をつくる上で、やはり発電設備ですとかこの松尾地区の皆さんが安心して避難ができるような、そういう建物を考えながら、食にしる健康にしる、ものをつくっていくというのは1つの考えではないのかなとは思います。</p> <p>本当にあの地震で、松尾地区は被害が余りなかったのも、意識的には皆さん、保護者の人もそんなに地震、津波に関しては意識がないのですけれども、蓮沼の地区の方はかなり、やはり津波が押し寄せてきた恐怖というのは、子供たちもこの間の植樹祭で小中学生がかなり集まってくれました。松尾中にも一応案内は出したのですけれども、やはりその意識が薄いせいか、本当に1名、2名程度しか参加していただけて、もうちょっとやはりそういったので防災意識を考えながらの建物が必要ではないかなと、私は思います。</p>
<p>花澤（和）委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>花澤さん。</p> <p>区長会の花澤ですけれども、今、北田さんからそういった防災に関してのお話がありましたけれども、私もやはり区長という立場で考えます</p>

と、そういった、この地区というのは、今回は非常に被害としては昔の東北地震に比べても少なかったもので、皆さんの意識というのはどうしても余り、蓮沼でああいった津波はありましたけれども、どうも余り危機感がないという感じはいたしております。

やはりそういったときにすぐ何か対応できる、そういうストックするとか、すぐ対応できる場所というのは、やはり山武市役所のあちらには何かつくるでしょうけれども、松尾地区にもそういったものは当然必要かなというふうに考えております。

そういう意味では、先ほど松尾IT保健福祉センターのところはどう使うかとか、そういうお話ありましたけれども、そういうところも考慮して、あの場所は幾らでもそれはできるのではないかというふうに思います。

あと、さっきの駅の話ございましたけれども、私も駅の通路ができることによっていろいろ、どちらかという、今の南側のそういう広い場所がありますので、その辺のいろいろなことに発展する要素はあると思います。

ですけれども、今回、跡地利用ということに関しては、直接その駅のところとどのぐらいそういう関係があるのかなと考えると、駅のところは乗り降りは便利になりますけれども、実際のところ現状でもそう利用しているのは学生さん以外はかなり少ないですね。ですので、跡地利用は跡地利用で、これはそのまま進めて考えたほうがいいと思います。

何に使うかというのを、先ほどいろいろな案がありましたけれども、そういったスポーツ関係の健康増進、これが簡単ですね。高齢化していきますので、当然そういったものは必要だと思いますけれども、あとほかにも、もうちょっと文化的なところでの利用というのも考えてもらいたいかなと思いますね。

今、洗心館でいろいろ講座とか、そういう文化面での活動がありますよね。ですので、それがそれはある程度こう決まったところでそこに参加するかどうかということだけの話で、あとは自分たちでそういうグループをつくって人を集めるとか、そういうグループがどんどんできてくるような、そんな建物があってそういうのができるか、もしくは、うまく言えないですけども、そういう皆さんが集まって新しいことを始めることのできるような、何というか、抽象的ですけども、そういう文化的な面でも利用できるものができるといいなというふうに思っています。

ありがとうございました。

齊藤さん、何か。

齊藤です。今の話の中で、私としてはすごく重要なことが出てきたと思います。それはどういうことかという、周東さんの意見です。今、周東さんは農協とかを引き込んでと言いましたけれども、過去において

会長

齊藤委員

	<p>旧松尾町で、いろいろなものというのが、プロがそれぞれ入っていないか ったのではないかなと思えるようなものが結果としてでき上がっている ような気がするのですね。</p> <p>この話、「まつ研」ですか、その中にはどういう構成か私は存じ上げ ませんが、それぞれの分野のある程度のプロフェッショナルが入るべき だと思うのですよ。入ることによって、それがどうかということに、だ んだんとかう広がっていくのに、その部分がないからすごく私は頼りな いというふうに、今日は思って聞いていたのです。</p> <p>そうしたら、そういう人を引き込んでという意見がありましたので、 やはりそれぞれの分野のそういう人たちを引き込んだ上での話し合いが 実現性をおびた結果を生み出していくのではないかというふうには、私 は思えるのですけれども。</p>
周東委員	<p>ご存知かどうか知りませんが、いわゆる松尾 I T 保健福祉セン ターで今度、年寄りの人の流動食というのですか、食べる食物をやるの だそうですね。</p>
齊藤委員	<p>はい、そうですね。</p>
周東委員	<p>それで、結局それはどういうグループがやっているかという、コー ラスグループだとか、それから童謡を歌う会、童謡を歌う、その人たち が自然的に集まってしまったのですね。</p> <p>さっき、花澤さんのお話にあったように、やはり何か司令塔がない と集まらないですね。それで、せっかく立派な設備なのですが、あそ こにあるのは、幻灯まで使って、安いし。だから、そういうのもやはり 文化的にもそれなりには考えて、年寄りはそのな。</p>
事務局 会長	<p>会長いいですか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>松尾地域賑わい空間創出研究会員がどういったメンバーだというこ とでちょっとお話がありましたけれども、一応コアメンバーということで、 中心的に今お話しをいただいているメンバーはこの地域の人たち、 区のほうから推薦していただいた方々。それと、あとは J A さん、農協 さん、それと商工会、それと朝市組合、現にこちらでプレイヤーとして 今そういった朝市をやっている方々ですね。そういった方に参加いた だいています。</p> <p>あとは、松尾地域、地域の審議会のほうからも会長と副会長というこ とで、ご参加をいただいているということですよ。</p> <p>そのほか、本当に思いのある方は誰でも来ていただきたいというこ とで、このメンバーを固定することなくご参加をいただけるように今、進 めているところであります、会によっては三十数名のご参加をいた だいて検討しているという状況でございます。</p> <p>以上です。</p> <p>あのやり方では、関係ない会とかやるでしょう。新しい経営方針か何</p>
周東委員	

事務局	<p>か知りませんが、結局、紙に書いてやっているのでしょうか。あのリーダーの人が、それこそ農協の人だとか、専門家になるのだよね。我々がただ言っているだけでは何もならないと思うのですよ。</p> <p>ただいま、周東委員からそういった会議の進め方についてのお話もありましたけれども、今回、駐在さんにもちょっとお手伝いいただいて、今、話し合いを進めているところでありまして、この地域でそういった形で誰でも来てくださいねと言った門戸を広げた形でそういった話し合いを始めたというのは、今回は初めてでありまして、ああいった手法もグループごとで討議していただいて、ポイントとなるものを書き出していくと。</p>
古川委員	<p>中には、すごく新鮮な形で意見を出しやすくしていいのではないかというご意見もある中でございますが、一方ではちょっといかがなものかというのがありますので、これからまた「まつ研」は、今年度だけではなく来年度以降も進めていくような形で考えていますので、また参考に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>ちょっと参考までに。先ほど北田さんが言われた防災なのですけれども、ちなみに何回も言いますけれども、私のところの孫も一宮なのですけれども、この間の地震のときに津波でゴルフ場さんがかなり開放してくれまして、あれは発電機ありますから、食事とかそんなのも、かなり提供していただけたらしいのですよ。</p>
会長	<p>だから、松尾にもそういった工業関係がありますもので、行政のほうでそういった方とコミュニケーションをよくとっていただいて、できればこういったのにも参加していただければ今までのやつが大体解消、もっと向上するのではないかなと思うのですけれども。ちなみに、参考までにです。</p> <p>ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>この点については、よろしいですね。</p> <p>私もいろいろ話を、皆さんのご意見を承ったのですけれども、やはり市長も市民参加の行政ということで、やはり今、周東さんが言われた、齊藤さんも心配しているものをつくりました。さあそれをどういうふうに運用していくかというのを、これは行政任せではやはりできないと思うのですよ。</p> <p>だから、ある部分については、やはりにリーダーなるものがあって初めてそれを引っ張り上げると、そういうことが必要ではないかと思うのですよ。農業なんかもそうなのです。いろいろな法人だとか米づくりだとか野菜づくりだとかというのをやっていますけれども、そのリーダーと引っ張り上げる人がきちっとしていれば、やはりそこは伸びていくと、何もなくて集まったよという話では伸びないと、そういうような、私もいろいろ話を聞いております。</p> <p>ですから、例えばここにこういうものをつくる、あるいは食のものを</p>

つくる。例えばスポーツのものにしてもそうなのですけれども、これは運営管理、それからそれを盛り上げるというのは、やはり行政だけではできないという認識を私どもは持っていますし、そういう面で、今日皆さんから意見が出されたものが、それが即実現というわけにはまいりませんけれども、これを一つ踏み台にして、これからまとめていくというような段階になっていくというふうに思います。

今日は庁舎の跡地の問題と、駅の問題が出できましたけれども、どちらかというところ、庁舎のほうが先ではないかという意見、確かにそれはその通りだと思います。

そういうことを踏まえて、行政のほうも一生懸命やっていただきますので、皆さんもそれを踏まえて、またひとつご意見、ご協力を賜りたいというふうに思います。

この2点につきましては、とりあえずここで終わりますけれども、その他について、何か皆さん、ご意見がございましたら承りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

その他でお願いします。

はい、どうぞ。

その他で2つばかりあるのですけれども、1つお願いといたしますか、耳にした話なのですけれども、要は、松尾に限らずなのですけれども、ごみ処理場の問題なのですけれども、これが近々その補修とか、そういったものの点検時期にきているということで、それに伴って経費節減といたしますか、そういった安かろう高かろうの見地から民間委託という声が出ているよと。

私からしてみれば、今の震災、放射能の関係のごみをどうのこうの言っていますけれども、やはりごみの問題は各家庭みんな出るものですから、これはやはり地元行政が主体で運営していってくれないと、安いとか、そういった問題はちょっと考えないでいただきたいというのが1つなのですけれども。

それと、安かろう高かろうの件で、私もちょっとその業界にいましたものですから、先ほどの、先月ですか、入札結果がありました成東こども園の問題で、あの工事価格が7億云々とありましたけれども、それで7社ぐらい入札参加希望があったようなのですけれども、そのうち6社が辞退という結果を私は拝見しまして、役所のほうで指定した上代が上代でも合わないような積算を何でしたのかというのがかなり不思議といえますか、疑問に思ったわけなのです。

やはり、安値、安値を追求するあまり、業者はやはり民間ですから利益を追求します、従業員の雇用問題とか福利厚生、いろいろなものを加味してやはり利益を追求していきますので、それが余り安い安いといふので手抜き工事とか、あと、その業者さんの経営上の問題から無理した受注で、以前にもかなりそういうのがあったものですから、それで

古川委員
会長
古川委員

<p>会長 古川委員 事務局</p>	<p>後始末を今度また行政が尻拭いするような結果になるということは、かえってマイナスになるのではないかなと私は常々思ったものですから、その辺はちょっとお願いといいますか、よく。これは、議会さんのほうでも多分出ると思うのですけれども。よろしくお願いします。</p> <p>いいですか。今のはお話を聞いてね。</p> <p>ええ、そういったあれはあるのです。</p> <p>お話をちょっと、こういう意見が出たということで、それについて承っておきたいと思います。関係部署のほうにはお伝えをしておきたいと思います。</p>
<p>会長 土屋委員</p>	<p>土屋さん、どうぞ。</p> <p>今、古川さんのほうから焼却場の話がちょっとありましたけれども、課長のほうで焼却場について、今わかっている範囲、何かあればちょっと教えていただきたいのですけれども。ちょっと耳にすることもあるので。</p>
<p>事務局 土屋委員</p>	<p>まだ結論は出ていないというのが、一番、私が知っている限りでございます。</p> <p>先ほど、課長も言ってくれたように、地域の問題を考える地域審議会、そういったことで、ちょっと私も耳にしたのですけれども、焼却場を今、広域行政組合で旧松尾、山武、芝山、横芝で、それ以外に今、成東が入っていないのですけれども、25年に東金、今、向こうでやっている分がどうのこうのというのを私は聞いたのですけれども。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>そういったことの中で、今度、私は地元が豊岡なものですから、この地域審議会でも反対できるかどうかわかりませんのですけれども、反対できる問題かどうか、そういったものを含めて、あと最終処分場の問題も多分あると思うのですけれども、あれも量的には多分かなりいっぱいになってきていると思いますし、そういったのもやはり十分に考えていただきたいということと、あと、先ほど来、市の跡地利用の問題も出ておりますけれども、例えばごみの処理施設だけをつくるのではなくて、その余熱を使った関連施設を、できれば、もしあそこでつくるようであれば、そういった施設を考えていただく、あるいは豊岡地区は非常に今、子供たちも減ってきて過疎になってきておりますので、何か人の、住宅地でも何かそういうような関連した施設を一緒に考えていただけるような、ただごみ処理場だけ考えるのではなくて。そういったものを、この地域審議会でも、豊岡だけの問題ではなくて、松尾町の問題として考えていただければありがたいなと思っておりますので、ぜひ、ひとつよろしく申し上げます。</p> <p>ちょっと待ってください。</p> <p>今、お二方からそういった意見が出ているのですけれども、大もとは何ですか。私は全然タッチしてなくて、わからないから、どういうことで始めたのですか。説明してください、私はわからないですから。</p>

古川委員	<p>もうそろそろ点検ですか、その補修、点検時期、新日鉄さんだと思った。見積もりを去年あたりとりましたよね。環境衛生組合で会議をやって、それが芝山町が抜けて民間委託だとか、横芝抜けたとかと、何かやっていたようで、首長さんあたりでやって、それはお茶飲み話でやったらしいですよ。</p> <p>そういう中で、やはり山武市も民間に委託したほうが安いとか云々と話が出ていたらしいのですよ。それが多分、議員さんらでまた3月ごろの議会で何かする。要するに、その結論はまだらしいですけども、その前にぜひともそれはストップしておかないとね。</p> <p>隣町の齊藤さんがお亡くなりになりましたけれども、あれは責任をとっての、かなりの責任感があってお亡くなりになったのでしょうけれども。辞めれば、責任とるといようなのしか私は見ていませんものでね。</p>
鈴木委員	<p>そういった話を持ち出すのであれば、最初から説明してもらわないと、みんなわからないことだってあるからね。</p>
会長	<p>古川さん、ちょっといいですか。</p> <p>ごみの問題は、これちょっと降ってわいたようなお話で、これのごみというのは、つくるときも大変、豊岡地区、金尾地区も苦労したところなので、今、土屋さんから出た、古川さんからも出ましたので、課長のほうで次回の会議までに、今、市役所のほうでその上についてどんな方向に進んでいるのかちょっと調べておいて、ちょっと報告してくれませんか。反対だとかどうという話になってしまうと、まだどっちにいつているかわからないから、市がどういう方向に動いているのか全然私もわかりませんから、こんなふうに検討されていますよという話はちょっと課長のほうで調べておいて。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
古川委員	<p>それと、会長さん、副会長さんに多分、山武市の市議会の役員会ですか、そういった合同の会議があると思うのですけれども、この「まつ研」のあれにも出ていましたけれども、旧山武町の出光村ですか、あれは何かバイオマス云々で木を植えようとかなんとかやっていますけれども、将来、今現在の金尾にあるやつだって、あれだって限度が、何年後という限界があると思うのですよ。</p> <p>それにもまして、1月から新しい法律で、放射能の影響でその灰に何か砂を混ぜて処理しなくちゃならない。そうすると、砂を入れますから、15年が10年しかもたないというようなのも多分、出てくると思うのですよ。</p> <p>そういう場合に、同じ山武市内ですから、そういう出光村、そういったのは市の書類でもあれば、そういったのも将来的な候補地として残しておいて、私なんか死んでしまうかわからないですけども、ごみは生活していればずっと永久的に出るものと思いますので。</p>

<p>会長 秋葉委員</p>	<p>どうぞ。</p> <p>秋葉です。震災関連のことで、お尋ねをしたいと思います。そのほかにもう一点あるのですが、まず震災関連なのですけれども、去年の暮れの議会の中の人だとか、総務部長さんの答弁で、防災マップの作成について質問を受けて、3月11日の津波等を受けて再構築していると。それは、いつ新しく完成するのか。</p> <p>それから、総務部長さんも、その中で最大の津波の高さを想定してというお話をされているのですね。最近になっていろいろわかっていることを踏まえて、市の当局としては、例えば千葉県の東方沖の巨大地震が発生した場合に最大津波が何メートルと想定されているのか、もし決めてあればそれを知らせたいのと、それから海拔表示についてなのですけれども、海岸付近に113カ所、これは今年度中に設置するというのを答弁されていますよね。これは部長さんなのですけれども。海岸付近とおっしゃらずに、松尾地区もぜひそれに加えていただいて、しかるべきところに設置をお願いしたいと思います。</p> <p>例えば豊岡のほうでも、木戸川沿いでいきますと海拔は低いですよ。だから、普段から意識するという点についても非常に大事なことだと思います。その点をお願いします。</p> <p>それから、もう一点が、全然多分違うことなのですけれども、国からの税金で地方贈与税の中で、航空機燃料譲与税というのがありますよね。それは山武市には来ているのでしょうか、その点をお尋ねします。</p>
<p>事務局</p>	<p>防災マップは、今年度中にはできるということでございます。本来ですともっと早くできる予定でしたが、3.11ということで、津波の関係がありますので、また見直しということで、現在見直しをかけているところであります。</p> <p>それから、レベルでございませけれども、まだ市としてこれでいくという数字は現在検討しております。国交省の調査も千葉県では旭市と山武市でやっておりますが、これも幾つかのパターンで5パターン津波を想定しておりますが、市としてどれでいくのだというのを今、検討しております。</p> <p>それから、表示の関係でございませけれども、これにつきましては、その旨を担当部局のほうに話をしておきたいと思っております。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>航空機燃料につきましては、これは多分、山武市に来ていると思っております。これは配分が多分それぞれ決まっていると思っておりますので。</p> <p>そうしますと、旧松尾町の場合は騒音対策費として従来からそれを配分してもらっているわけけれども、山武市になってからでも、その譲与税については、専ら市町村の騒音対策のみに使用するものだという法律上の性格があるというふうには認識をしているのですが、総額がどのくらいであるかというのをおわかりだったら教えてもらいたいです。後でも結構です。</p>

事務局	航空機燃料の関係について、ちょっと今、手持ち資料がないので、改めてお答えをさせていただきたいと思います。
秋葉委員	はい、よろしくお願いします。 以上です。
周東委員	私言ったのですよ、空港公団に。この第1種地域におりるお金と、それからこの山武市全体に何でもいいからお使いなさいというお金が2つありましたよ。
秋葉委員	飛行場のある区市町村に配分されるそうですよ。関連して、騒音関連なので、当然山武市にも来ているとすれば、専ら騒音対策費に充てるということが、そう読み取らざるを得ないわけですけれども、そうなれば幾ら来ていてそれがどういう形で使われているのかなということがちょっと気になったもので、お尋ねしただけです。
会長	これは多分、私もよくわからないのですけれども、空港から来ている、特別と一般のあれが来ているので、だから、これが燃料譲与税の部分ですよ、これは何税の部分ですよというあれがこっちへ総括して来ているわけだから、その金額が幾ら来ているかというのは、多分わからないという形ですね。
秋葉委員	一般財源で来ているから、わからないかもしれないですけれども。
会長	それは、調べてくれれば。わからないですけれども。
小柳委員	今度30万回になれば、半分譲与税から。
会長	それはちょっと調べてもらって。 それでは、4時になりました。今日は非常にテーマが幅広くて、まだ市のほうも、ちょっとテーマにない質問もあったので調査を依頼した件もございました。 いずれに対しましても、この会議が進めるごとに一步でも二歩でも前へ進んで、よい結果に結びつくよう、ひとつお願いしたいと思います。 今日は長時間に渡りまして審議をいただきまして、ありがとうございました。 以上で、会議を閉じます。
事務局	ここで、ちょっとお願いがございますので、よろしくお願いしますと思います。
会長	失礼しました。市のほうから依頼事項があるそうですから、ひとつよろしくお願いします。
事務局	それでは、お疲れのところ大変恐縮でございます。2点ほど、お知らせのほうをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。 お手元のほう、資料はございませんけれども、まず第4期地域審議会の委員さんの募集についてということで、こちらは先ほど冒頭に会長のほうからごあいさついただきました中にもございましたように、3月いっぱい第3期の委員さんは任期が満了ということになります。4月か

<p>会長 事務局</p>	<p>らは第4期ということになるわけでございますけれども、この委員さんの募集のほうは明日から始まることとなります。これは、詳しいご案内ですとかは防災無線ですとか、あとは広報のほうでもご案内のほうをさせていただくのですけれども、こちらが明日から始まりますので、そのご案内をさせていただきました。</p> <p>今後ですね。</p> <p>そうですね、今後の委員さんの募集ということで、明日から始まります。明日から一応お申込みのほう、3月15日までということでお受けさせていただきますこととなります。よろしくお願いたします。</p>
<p>周東委員 事務局</p>	<p>それから、もう一点目でございますけれども、お手元のほうにお配りしております「Present Tree for さんむ日向の森」植樹祭ということで、こちらは3月4日に植樹祭のほうを日向の森でやらせていただくわけでございますけれども、今こちらのほう、全体で大体200名ぐらいを目標として募集をかけております。その中で、市のほうでも、これはNPOのほうからも募集等ありまして、市では100名を目標に募集をさせていただいているのですけれども、なかなか、ちょうどスギ花粉の時期なのか、ちょっと集まりが悪い状況でございます。ぜひ皆様、ご都合よろしいようでしたら、お近くの方お誘い合わせの上、ご参加いただければありがたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ちょっと質問。また、つづり方出すのかね。何か広報するでしょう。また、あのつづり方書くのかい。文句は言えないしさ。今までどおり。</p> <p>大変申しわけございません。こちらは例年どおりということで、申しわけございませんが……</p>
<p>周東委員 事務局</p>	<p>題名は。</p> <p>題名は、「地域課題に対する思い」ということで、それぞれその地域の課題等、思っていच्छやることを作文にさせていただいてということでお願いたします。申しわけございません。</p>
<p>鈴木委員 周東委員 会長</p>	<p>やはり、つづり方は書かなきゃだめなのでしょう。</p> <p>書いたって、誰が見て何が何だか、わけがわからないよ。</p> <p>では、どうもありがとうございました。ご苦労様でした。</p>